

## 平成30（2018）年度における一般廃棄物処理事業の概要

岩手県では、市町村及び特別地方公共団体（一部事務組合及び広域連合）に対して「一般廃棄物処理事業実態調査（平成30（2018）年度実績）」を実施し、一般廃棄物（ごみ・し尿）の排出・処理状況、廃棄物処理事業経費及び一般廃棄物処理施設の整備状況等について、以下のとおり取りまとめました。なお、端数処理の都合により、合計値が必ずしも一致していない場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

また、県では、平成31年3月に新たな長期計画である「いわて県民計画（2019～2028）」を策定し、循環型社会の形成を目指して廃棄物の発生を抑制するとともに、廃棄物の循環利用（再使用・再生利用）を推進することとしたところです。さらに、同計画の「第1期アクションプラン」において次のとおり指標を定め、廃棄物の排出抑制のための取組を、より一層促進します。

### 【第1期アクションプランにおける指標】

指標名	現状値	年度目標値			計画目標値
	2017	2019	2020	2021	2022
一般廃棄物の最終処分量(千トン)	⑬40.6	⑮38.6	⑰37.6	⑳36.7	㉑35.8
一人1日当たり家庭系ごみ(資源になるものを除く)排出量(g)	⑬501	⑮492	⑰483	⑳474	㉑465

※⑬が2018年度実績

## I ごみ処理

### 1 ごみの排出状況

#### (1) ごみ総排出量

平成30年度における県内のごみ総排出量は425千トンで、対前年度比で約1.3千トン（0.3%）減少した。なお、この排出量は、東京ドームの1.1杯分、岩手県庁舎を枳に例えると16.7杯分に相当する。

また、県民一人1日当たりごみ排出量は930gで、前年度の922gから8g（0.9%）増加した。

※ごみ総排出量＝市町村等による計画収集量＋施設への直接搬入量＋集団回収量

※東京ドームの容積1,240千m<sup>3</sup>、県庁の容積85千m<sup>3</sup>（ごみの比重0.3トン/m<sup>3</sup>として算出）

#### (2) 生活系ごみ排出量

各家庭から排出された生活系ごみ排出量は290千トンで、前年度比で約1.3千トン（0.5%）減少した。

また、県民一人1日当たり生活系ごみ排出量は635gで、前年度の630gから5g（0.8%）増加した。

#### (3) 家庭系ごみ排出量

家庭系ごみとは、上記(2)の生活系ごみ排出量のうち、資源となるもの（資源ごみ及び集団回収量）を除いた量で、新たな県民計画の指標としている。家庭系ごみ排出量は231千トンで、前年度比で約600トン（0.3%）減少した。

また、県民一人1日当たり家庭系ごみ排出量は506gで、前年度の502gから4g（0.8%）増加した。

※家庭系ごみ排出量＝生活系ごみ排出量－（資源ごみ＋集団回収量）

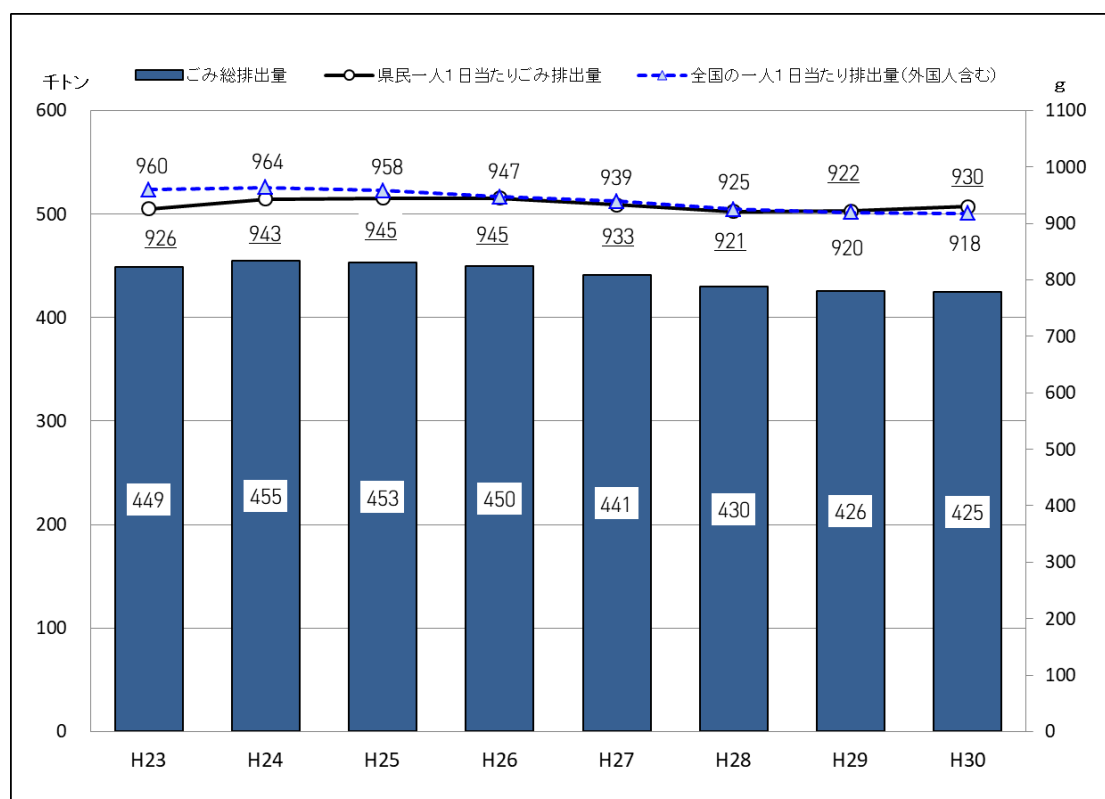
#### (4) 事業系ごみ排出量

スーパー等の小売店やオフィス、飲食店・宿泊施設といった事業所から排出された事業系ごみ排出量は135千トンで、前年度比で10トン（0.07％）増加した。また、県民一人1日当たり事業系ごみ排出量は295gで、前年度の292gから3g（1.0％）増加した。

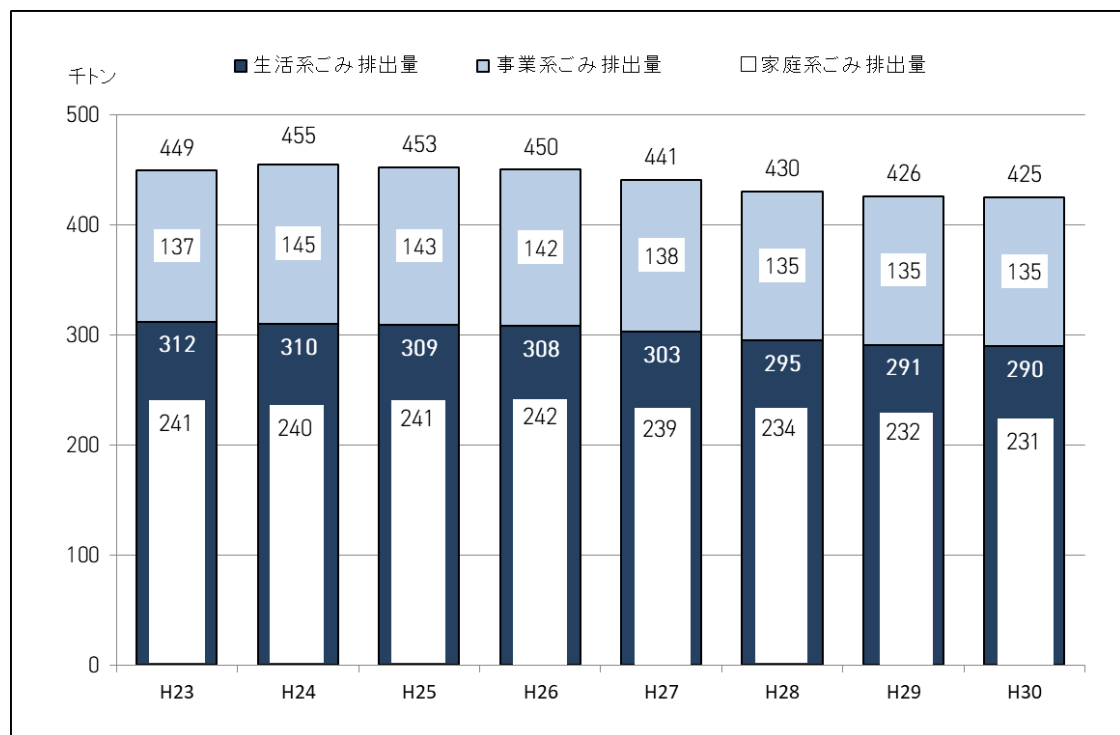
※事業系ごみ排出量は、事業所等から排出されるものであるが、全国との比較等のため、県民一人1日当たりに換算して算出している。

表－1 ごみ排出量の推移

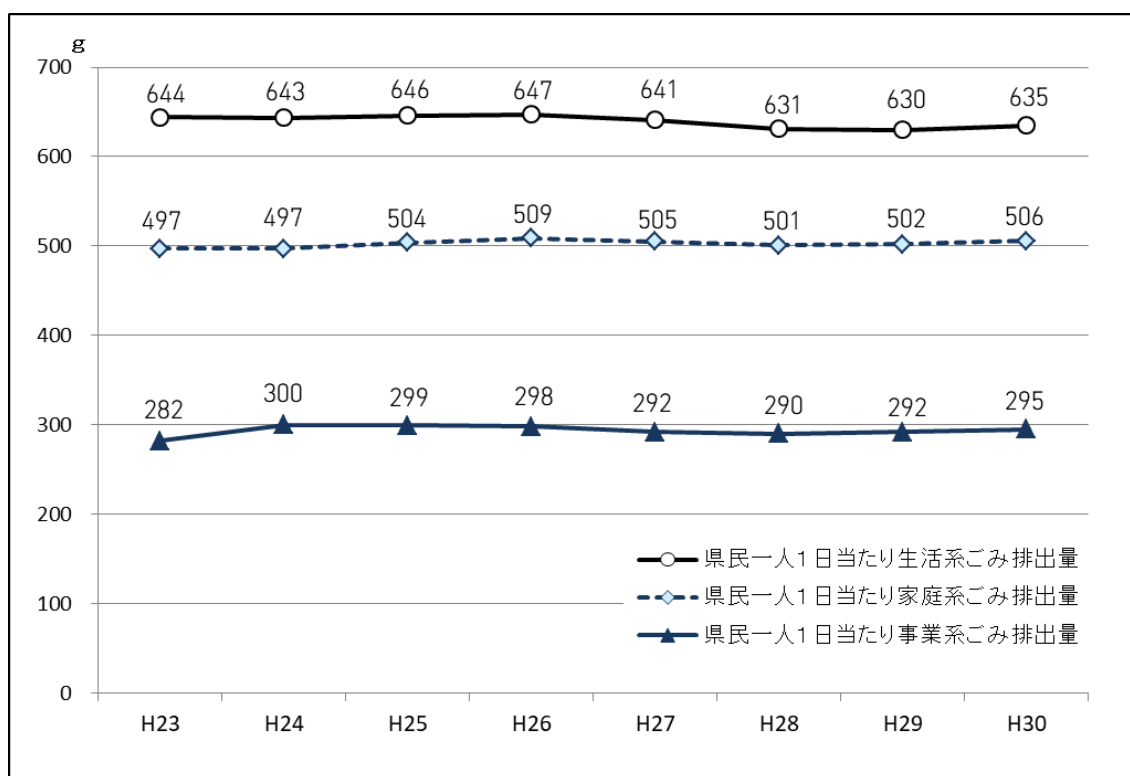
項目 \ 年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
総人口(人)	1,325,147	1,321,598	1,312,383	1,302,923	1,291,352	1,279,875	1,266,552	1,252,038
ごみ排出量(t)	449,111	455,076	452,666	449,548	440,812	430,106	426,270	424,967
うち生活系ごみ(t)	312,345	310,311	309,321	307,892	302,791	294,613	291,350	290,037
うち家庭系ごみ(t)	241,074	239,744	241,457	241,961	238,725	233,823	231,995	231,398
うち事業系ごみ(t)	136,766	144,765	143,345	141,656	138,021	135,493	134,920	134,930
県民一人1日当たりごみ排出量(g)	926	943	945	945	933	921	922	930
うち生活系ごみ(g)	644	643	646	647	641	631	630	635
うち家庭系ごみ(g)	497	497	504	509	505	501	502	506
うち事業系ごみ(g)	282	300	299	298	292	290	292	295



図－1 ごみ排出量と県民一人1日当たりごみ排出量の推移



図－２ ごみの排出量の推移



図－３ 県民一人1日当たりごみ排出量の推移

(5) 各市町村における家庭系ごみの排出状況

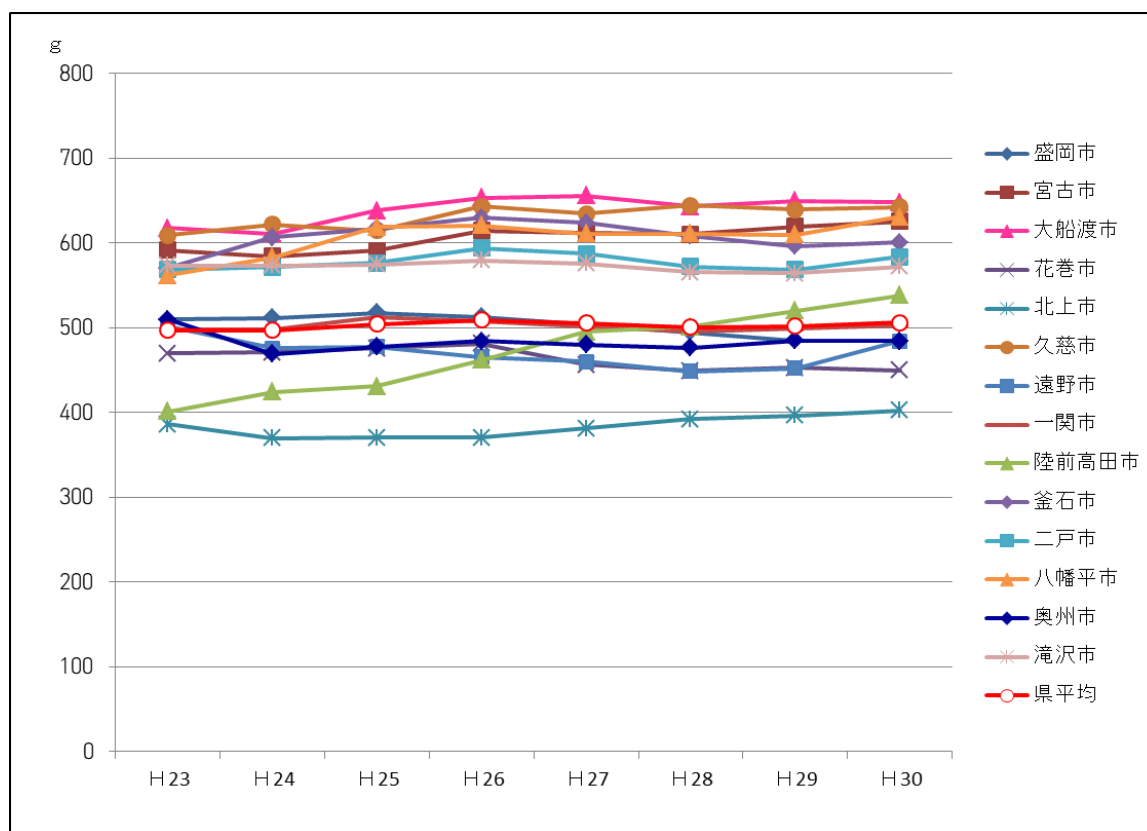
県内33市町村のうち、一人1日当たり家庭系ごみ排出量が最も少なかったのは葛巻町の353gで、次いで金ヶ崎町の365g、北上市の402gであった。

一方、一人1日当たり家庭系ごみ排出量が最も多かったのは普代村の733gで、次いで大船渡市の648g、久慈市の642gであった。

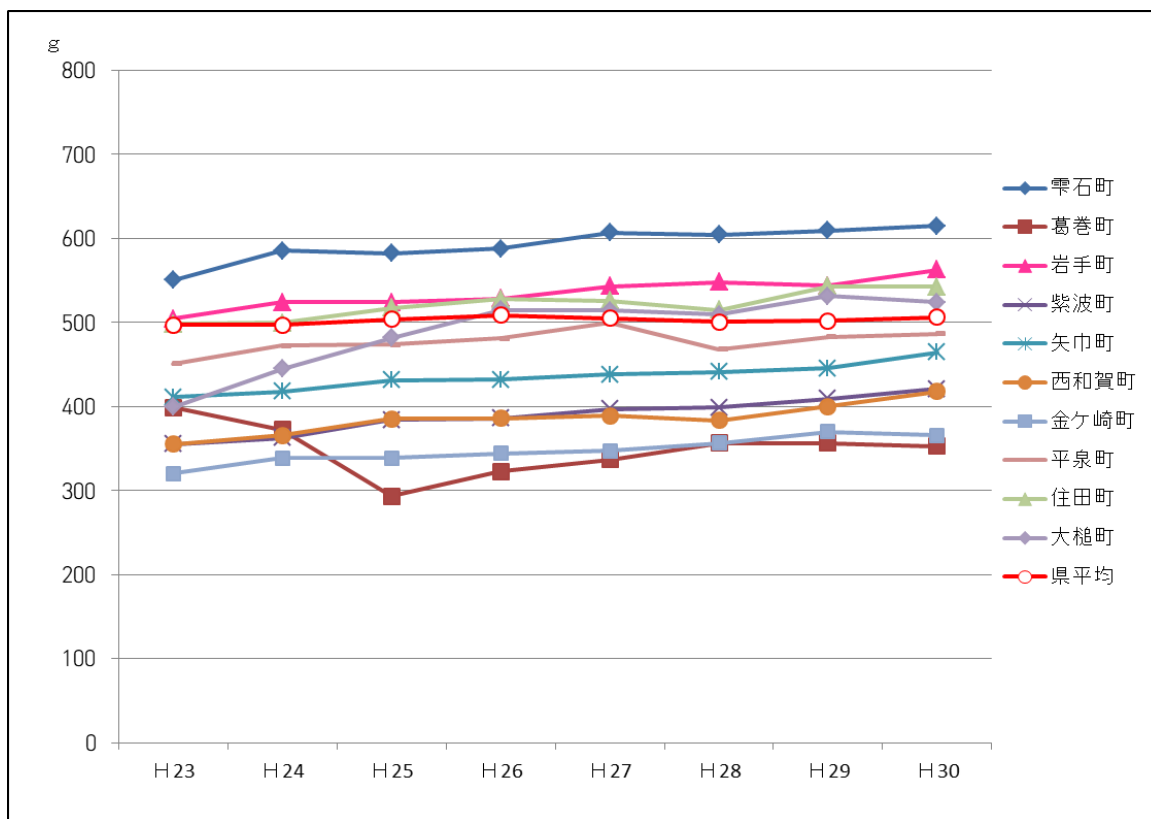
なお、北上市においては、平成20年12月から家庭ごみの手数料有料化事業を実施している。

表－2 市町村別一人1日当たり家庭系ごみ排出量（平成30年度）

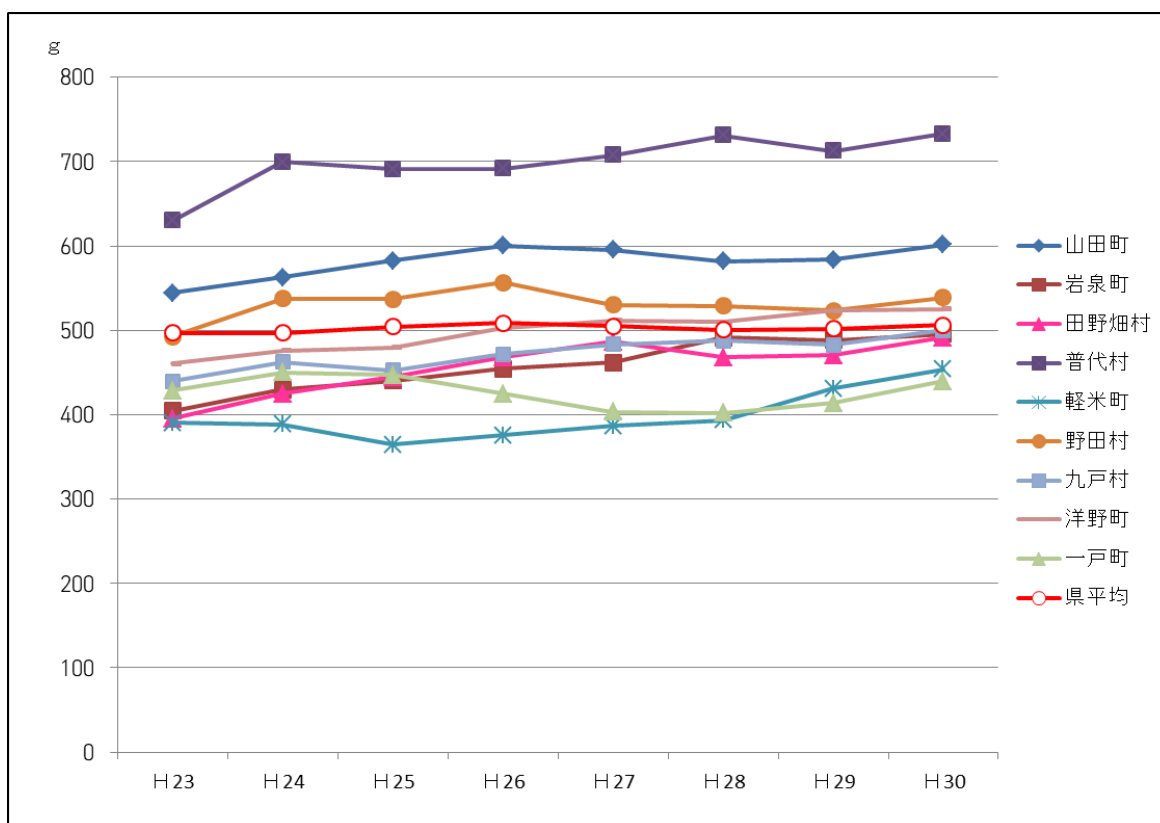
市町村名	排出量(g)	市町村名	排出量(g)	市町村名	排出量(g)
盛岡市	484	八幡平市	631	住田町	543
宮古市	625	奥州市	484	大槌町	524
大船渡市	648	滝沢市	572	山田町	601
花巻市	450	雫石町	615	岩泉町	496
北上市	402	葛巻町	353	田野畑村	491
久慈市	642	岩手町	563	普代村	733
遠野市	484	紫波町	421	軽米町	453
一関市	502	矢巾町	464	野田村	539
陸前高田市	538	西和賀町	418	九戸村	500
釜石市	600	金ヶ崎町	365	洋野町	525
二戸市	583	平泉町	487	一戸町	439
				県平均	506



図－4（1） 県民一人1日当たり家庭系ごみ排出量の推移（市部）



図－４（２） 県民一人１日当たり家庭系ごみ排出量の推移（町村部）



図－４（３） 県民一人１日当たり家庭系ごみ排出量の推移（町村部）

表－３ 市町村別一人１日当たり家庭系ごみ排出量の推移

排出量	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
300g以下			葛巻町 293					
300g～350g	金ヶ崎町 320	金ヶ崎町 338	金ヶ崎町 339	葛巻町 323 金ヶ崎町 344	葛巻町 337 金ヶ崎町 347			
351g～400g	西和賀町 355 紫波町 355 北上市 386 軽米町 390 田野畑村 395 葛巻町 399 大槌町 399	紫波町 362 西和賀町 366 北上市 370 葛巻町 372 軽米町 388	軽米町 364 北上市 370 紫波町 384 西和賀町 386	北上市 370 軽米町 375 紫波町 386 西和賀町 386	北上市 381 軽米町 387 西和賀町 389 紫波町 397	金ヶ崎町 357 葛巻町 357 西和賀町 383 北上市 392 軽米町 394 紫波町 399	葛巻町 356 金ヶ崎町 370 北上市 396 西和賀町 400	葛巻町 353 金ヶ崎町 365
401g～450g	陸前高田市 401 岩泉町 405 矢巾町 411 一戸町 429 九戸村 440	矢巾町 418 陸前高田市 424 田野畑村 425 岩泉町 430 大槌町 445 一戸町 450	陸前高田市 431 矢巾町 432 岩泉町 441 田野畑村 445 一戸町 447	一戸町 425 矢巾町 432	一戸町 404 矢巾町 438	一戸町 402 矢巾町 441 遠野市 448 花巻市 449	紫波町 409 一戸町 414 軽米町 431 矢巾町 446	北上市 402 西和賀町 418 紫波町 421 一戸町 439 花巻市 450
451g～500g	平泉町 451 洋野町 460 花巻市 469 野田村 493 県平均 497 一関市 498 住田町 498	九戸村 462 奥州市 469 花巻市 471 平泉町 472 遠野市 476 洋野町 476 県平均 497 一関市 498 住田町 500	九戸村 452 平泉町 474 花巻市 475 遠野市 477 奥州市 477 洋野町 480 大槌町 482	岩泉町 454 陸前高田市 462 遠野市 465 田野畑村 468 九戸村 472 花巻市 481 平泉町 481 奥州市 484	花巻市 456 遠野市 460 岩泉町 462 奥州市 480 九戸村 483 田野畑村 486 陸前高田市 495 平泉町 500	田野畑村 468 平泉町 468 奥州市 476 九戸村 488 岩泉町 492 盛岡市 494 一関市 496	遠野市 452 花巻市 452 田野畑村 471 九戸村 483 平泉町 483 奥州市 485 盛岡市 485 岩泉町 488 一関市 499	軽米町 453 矢巾町 464 奥州市 484 盛岡市 484 遠野市 484 平泉町 487 田野畑村 491 岩泉町 496 九戸村 500
501g～550g	遠野市 501 岩手町 504 盛岡市 509 奥州市 510 山田町 544 雫石町 550	盛岡市 512 岩手町 524 野田村 538	県平均 504 一関市 512 住田町 517 盛岡市 517 岩手町 524 野田村 537	洋野町 503 一関市 508 県平均 509 盛岡市 513 大槌町 515 住田町 528 野田村 529	一関市 501 盛岡市 504 県平均 505 洋野町 512 大槌町 514 住田町 526 野田村 530 岩手町 543	県平均 501 陸前高田市 501 大槌町 509 洋野町 510 住田町 515 野田村 529 岩手町 548	県平均 502 陸前高田市 520 野田村 523 洋野町 524 大槌町 532 住田町 543 岩手町 544	一関市 502 県平均 506 大槌町 524 洋野町 525 陸前高田市 538 野田村 539 住田町 543
551g～600g	八幡平市 562 二戸市 569 釜石市 570 滝沢市 573 宮古市 592	山田町 563 二戸市 572 滝沢市 573 八幡平市 583 宮古市 584 雫石町 586	滝沢市 574 二戸市 577 雫石町 582 山田町 583 宮古市 591	野田村 556 滝沢市 579 雫石町 588 二戸市 594 山田町 600	滝沢市 576 二戸市 587 山田町 596	滝沢市 565 二戸市 572 山田町 582	滝沢市 564 二戸市 568 山田町 584 釜石市 596	岩手町 563 滝沢市 572 二戸市 583 釜石市 600
601g～650g	久慈市 609 大船渡市 618 普代村 630	釜石市 606 大船渡市 611 久慈市 622	久慈市 614 釜石市 617 八幡平市 618 大船渡市 638	宮古市 615 八幡平市 621 釜石市 630 久慈市 643	雫石町 607 八幡平市 611 宮古市 612 釜石市 623 久慈市 634	雫石町 604 釜石市 608 宮古市 610 八幡平市 611 大船渡市 643 久慈市 644	雫石町 609 八幡平市 610 宮古市 619 久慈市 639 大船渡市 650	山田町 601 雫石町 615 宮古市 625 八幡平市 631 久慈市 642 大船渡市 648
651g～700g		普代村 700	普代村 691	大船渡市 653 普代村 691	大船渡市 655			
701g以上					普代村 708	普代村 731	普代村 712	普代村 733

(6) ごみの収集区分別排出量

平成30年度におけるごみの収集区分別の排出量は、「可燃ごみ」が最も多く全体の73.6%を占めている。可燃ごみ以外では、「資源ごみ」が9.9%、「不燃ごみ」と「粗大ごみ」で4.0%となっており、この構成比は、ほぼ横ばいで推移している。

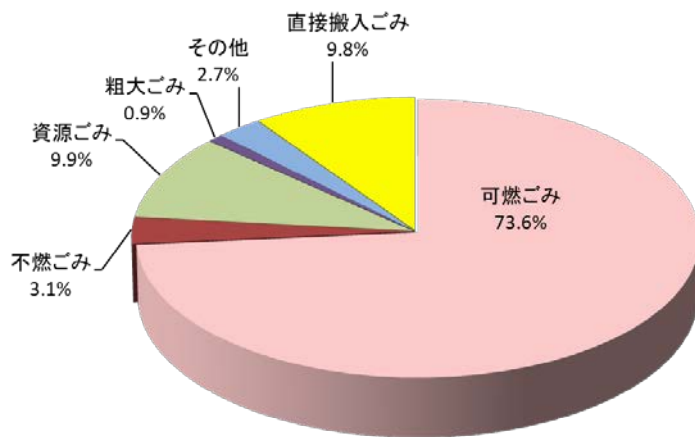


図-5 ごみの収集区分別排出量の割合 (平成30年度)

表-4 ごみの収集区分別の推移

(単位: トン, %)

年度	H23 (2011)		H24 (2012)		H25 (2013)		H26 (2014)		H27 (2015)		H28 (2016)		H29 (2017)		H30 (2018)	
ごみの収集区分	排出量	構成比	排出量(t)	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比	排出量	構成比
可燃ごみ	307,497	72.3	311,758	72.4	314,844	73.3	313,242	73.4	308,239	73.4	304,819	74.4	301,944	74.2	298,982	73.6
不燃ごみ	16,713	3.9	14,707	3.4	14,864	3.5	14,345	3.4	13,633	3.3	13,020	3.2	12,655	3.1	12,507	3.1
資源ごみ	48,098	11.3	46,963	10.9	45,673	10.6	43,757	10.2	43,138	10.3	41,158	10.0	40,572	10.0	40,289	9.9
粗大ごみ	3,464	0.8	3,536	0.8	3,674	0.9	3,566	0.8	3,568	0.9	3,478	0.8	3,471	0.9	3,719	0.9
その他	11,221	2.6	11,858	2.8	12,192	2.8	12,485	2.9	12,306	2.9	11,819	2.9	11,377	2.8	11,041	2.7
直接搬入ごみ	38,377	9.0	41,885	9.7	38,499	9.0	39,612	9.3	38,556	9.2	35,633	8.7	37,078	9.1	39,731	9.8
合 計	425,370	100.0	430,707	100.0	429,746	100.0	427,007	100.0	419,440	100.0	409,927	100.0	407,097	100.0	406,269	100.0

## 2 ごみの処理状況

### (1) ごみの処理状況

ごみの総処理量は406千トンであり、そのうち、焼却、破碎・選別等により中間処理された量（中間処理量）は388千トン（95.6%）、再生業者等へ直接搬入された量（直接資源化量）は15.8千トン（3.9%）で、この両者でごみの総処理量の99.5%を占める。

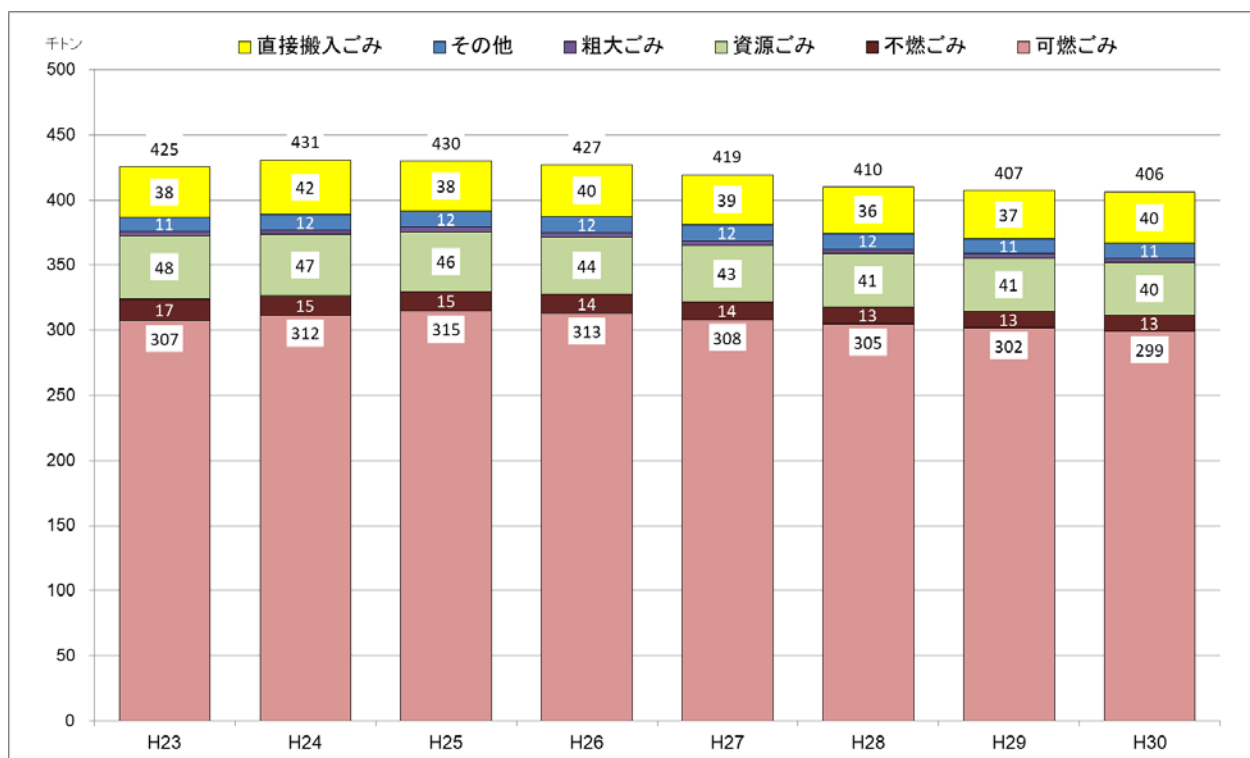


図-6 ごみの収集区分別排出量の推移

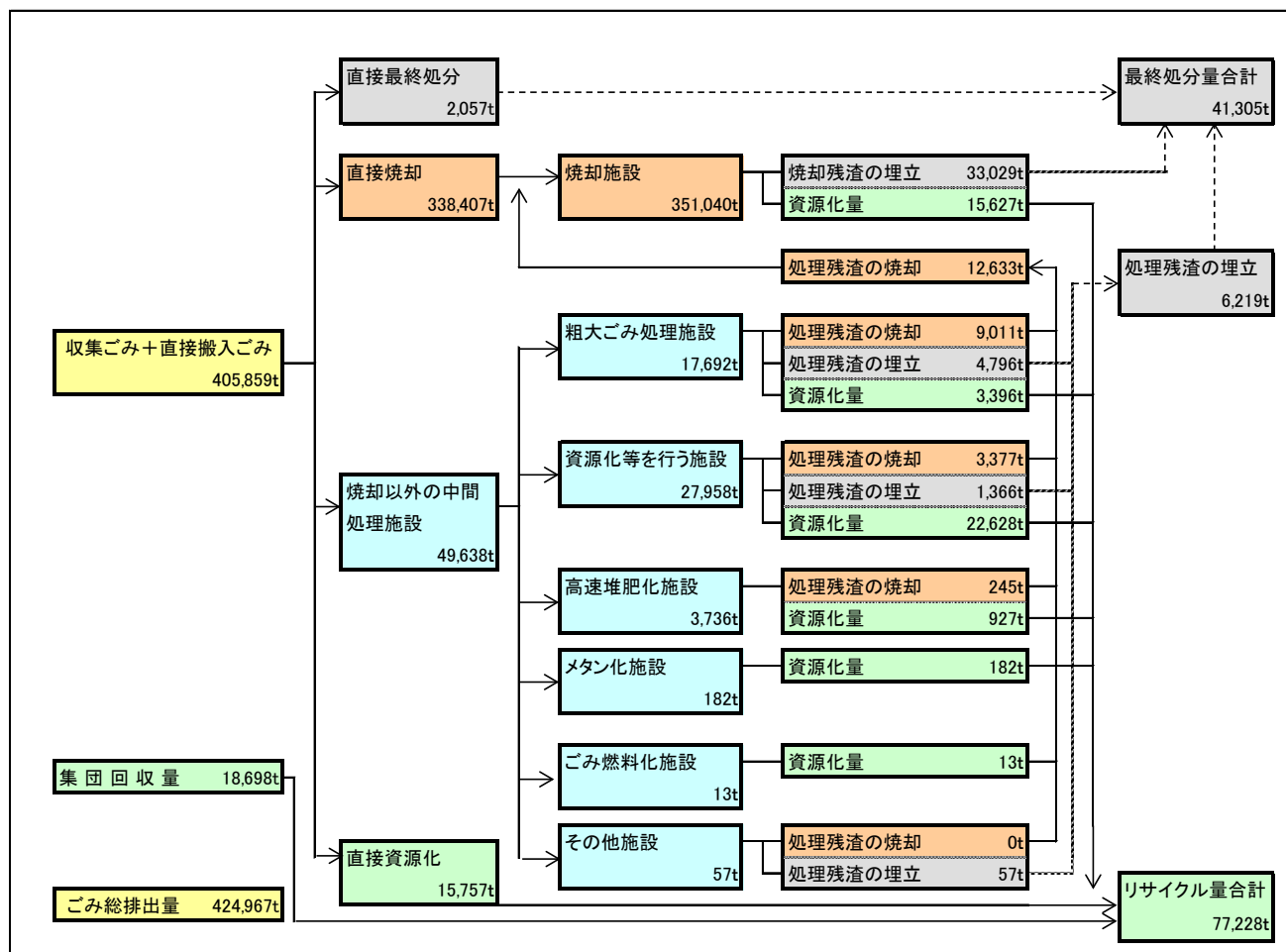


図-7 ごみ処理フロー図（平成30年度）

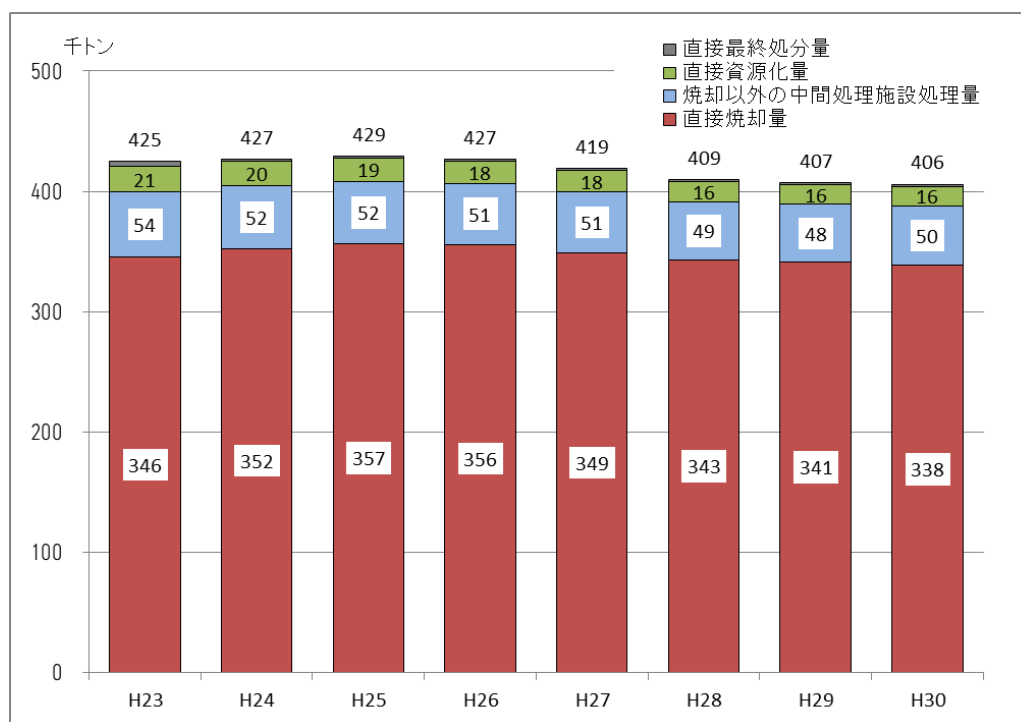
## （2）焼却及び最終処分の状況

焼却処理量は351千トンで前年度から0.4%減少、最終処分量は41.3千トンで前年度から1.3%増加した。なお、最終処分量41.3千トンは、岩手県庁舎を枳に例えると0.6杯分に相当する（埋立てごみの比重0.8トン/㎡として算出）。

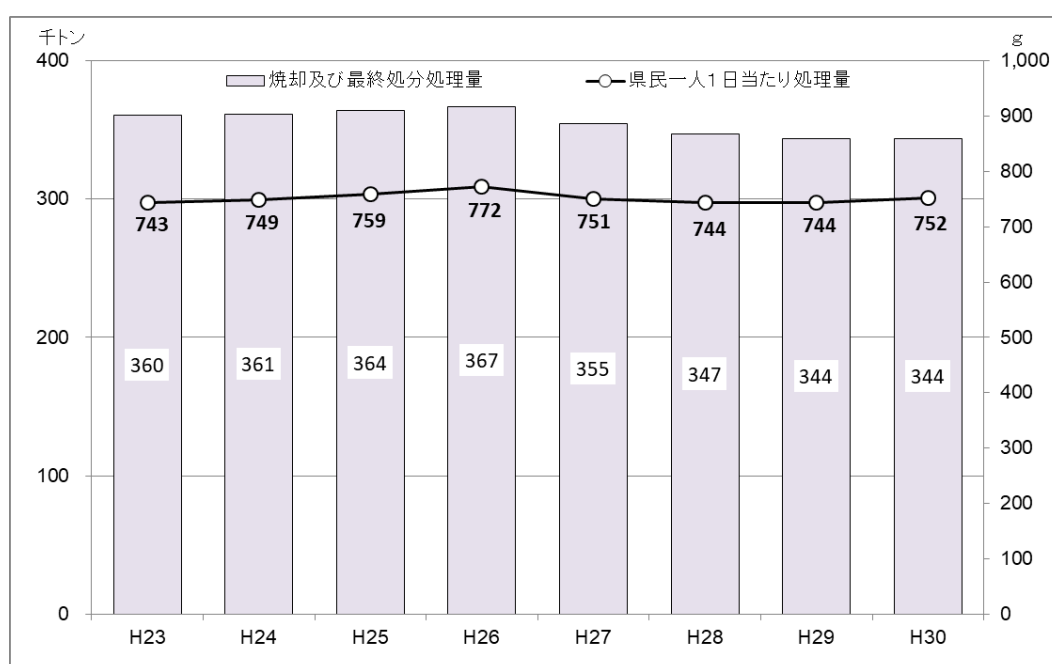
また、焼却処理量（焼却施設資源化量を除く）と最終処分量（焼却残渣埋立量を除く）の合計量は、344千トンで前年度から0.02%減少し、県民一人1日当たり処理量は752gで前年度よりも8g増加した。

表-5 ごみ処理の推移

項目 \ 年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
ごみ総処理量(t)	424,936	426,548	429,357	426,735	418,870	409,372	406,963	405,859
直接焼却量(t)	345,684	352,389	356,533	355,776	348,857	342,876	341,022	338,407
直接最終処分量(t)	4,492	1,893	1,937	2,089	1,740	1,590	1,789	2,057
焼却以外の中間処理施設処理量(t)	53,795	52,102	51,639	50,807	50,630	48,512	48,093	49,638
直接資源化量(t)	20,965	20,164	19,248	18,063	17,643	16,394	16,059	15,757
焼却及び最終処分処理量(t)	360,366	361,190	363,797	367,114	354,880	347,379	343,774	343,689
県民一人1日当たり処理量(g)	743	749	759	772	751	744	744	752



図－8 ごみの処理の推移



図－9 焼却及び最終処分量の推移

### (3) リサイクルの状況

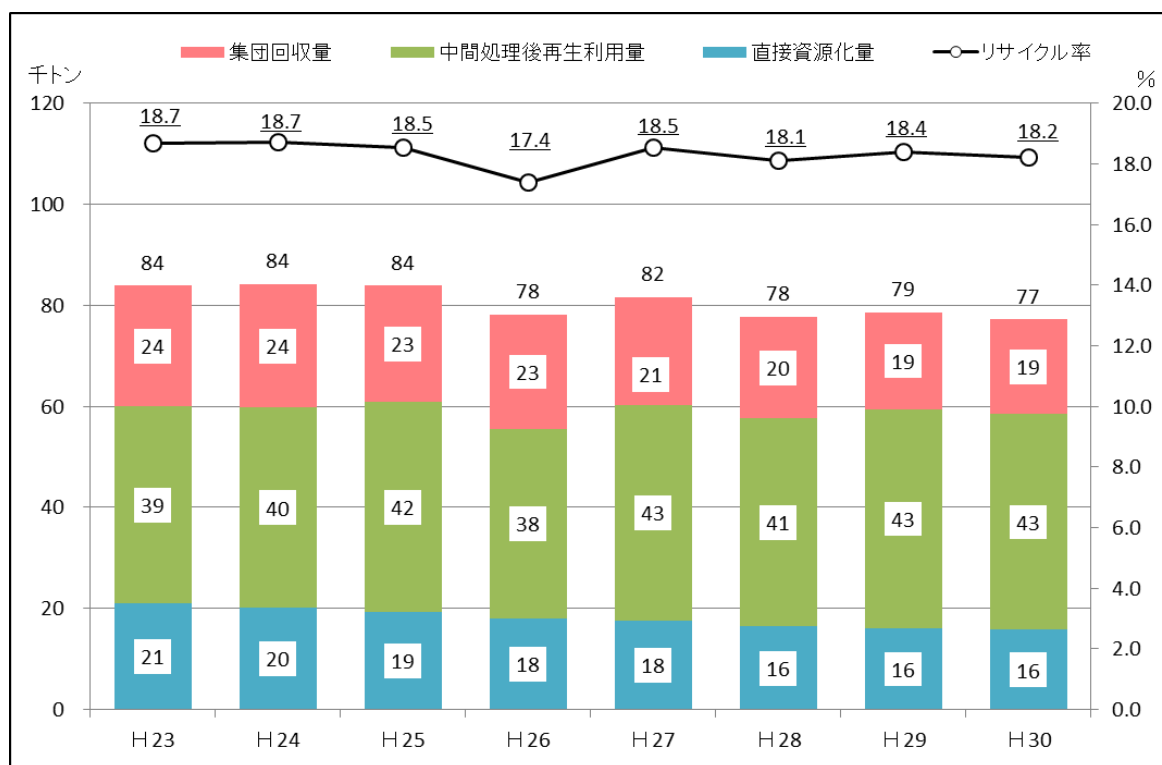
リサイクル量は77.2千トンで、前年度から1.8%減少した。また、リサイクル率は18.2%で、前年より0.2ポイント下降した。なお、リサイクル率は、近年はほぼ横ばいで推移している。

※リサイクル量＝直接資源化量＋中間処理後再生利用量＋集団回収量

※リサイクル率＝リサイクル量／（ごみ総処理量＋集団回収量）

表ー6 リサイクル量の推移

項目	年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
リサイクル量		83,851	84,182	83,864	78,138	81,595	77,751	78,609	77,228
直接資源化量		20,965	20,164	19,248	18,063	17,643	16,394	16,059	15,757
中間処理後再生利用量		39,145	39,649	41,696	37,534	42,580	41,178	43,377	42,773
集団回収量		23,741	24,369	22,920	22,541	21,372	20,179	19,173	18,698
県民一人当たり年間リサイクル量(kg)		63.3	63.7	63.9	60.0	63.2	60.7	62.1	61.7
リサイクル率		18.7	18.7	18.5	17.4	18.5	18.1	18.4	18.2
総人口(人)		1,325,147	1,321,598	1,312,383	1,302,923	1,291,352	1,279,875	1,266,552	1,252,038



図ー10 リサイクル量及びリサイクル率の推移

#### （４） 各市町村におけるリサイクルの状況

県内33市町村のうち、リサイクル率が最も高かったのは住田町と岩泉町の32.6%で、次いで葛巻町の30.9%であった。

一方、リサイクル率が最も低かったのは九戸村の9.3%で、次いで奥州市の10.7%、八幡平市の10.9%であった。

リサイクル率は、焼却施設が溶融炉の場合、溶融スラグやメタルがリサイクル資材として活用されるため、溶融炉で処理を行っている市町村においてリサイクル率が高い傾向にある。

なお、岩手中部広域行政組合や一関地区広域行政組合では、焼却後の処理残渣をセメント工場に搬入しリサイクルを行っている。

表－７ 各市町村のリサイクル率・一人当たり年間リサイクル量(平成30年度)

市 部			町 村 部					
市名	リサイクル率 (%)	1人当たり 年間リサイクル量 (kg)	町村名	リサイクル率 (%)	1人当たり 年間リサイクル量 (kg)	町村名	リサイクル率 (%)	1人当たり 年間リサイクル量 (kg)
盛岡市	16.2	61.6	雫石町	25.8	101.2	軽米町	18.1	45.4
宮古市	12.3	50.3	葛巻町	30.9	88.6	野田村	12.8	39.7
大船渡市	20.9	58.5	岩手町	14.7	43.7	九戸村	9.3	22.7
花巻市	21.6	69.9	紫波町	22.6	74.8	洋野町	12.4	33.2
北上市	26.7	78.7	矢巾町	20.0	84.4	一戸町	24.4	77.1
久慈市	11.4	42.8	西和賀町	21.2	63.4	県平均	18.2	61.7
遠野市	27.4	90.1	金ヶ崎町	13.2	35.3	(単位: %、kg/年)		
一関市	16.8	50.9	平泉町	14.5	40.7			
陸前高田市	23.5	68.3	住田町	32.6	76.3			
釜石市	22.9	95.1	大槌町	29.1	101.0			
二戸市	14.0	47.2	山田町	13.3	43.0			
八幡平市	10.9	42.8	岩泉町	32.6	122.0			
奥州市	10.7	33.4	田野畑村	26.1	87.2			
滝沢市	26.4	85.5	普代村	11.7	42.8			

表－８ 各市町村のリサイクル率の推移

リサイクル率	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
40%以上		住田町 42.6	陸前高田市 45.1 住田町 41.5					
35～40%	岩泉町 36.0	岩泉町 37.1	大槌町 38.0 葛巻町 37.0 岩泉町 36.2	岩泉町 36.4 葛巻町 35.0	岩泉町 35.5 葛巻町 35.2			
30～35%	大槌町 34.2 住田町 30.3	大槌町 34.6	釜石市 30.2	大槌町 31.9 住田町 31.8		岩泉町 33.6 大槌町 32.1 葛巻町 32.0	岩泉町 33.2 住田町 32.1 葛巻町 30.0	住田町 32.6 岩泉町 32.6 葛巻町 30.9
25～30%	滝沢市 28.3 雫石町 26.7 紫波町 26.4 田野畑村 26.4 葛巻町 26.1 釜石市 25.3	葛巻町 29.4 陸前高田市 29.1 田野畑村 27.9 大船渡市 26.5 滝沢市 26.4 紫波町 26.4 釜石市 26.2	滝沢市 26.2 大船渡市 26.0 雫石町 25.9 紫波町 25.4	陸前高田市 27.7 滝沢市 27.0 釜石市 25.8	滝沢市 29.7 住田町 29.2 大槌町 28.7 紫波町 28.5 一戸町 27.7 雫石町 27.4 矢巾町 25.8 遠野市 25.2 陸前高田市 25.1	遠野市 28.7 一戸町 28.3 住田町 27.4 北上市 26.1 田野畑村 25.3	大槌町 28.5 一戸町 28.4 遠野市 28.2 滝沢市 26.9 雫石町 26.6 北上市 25.7 田野畑村 25.1	大槌町 29.1 遠野市 27.4 北上市 26.7 滝沢市 26.4 田野畑村 26.1 雫石町 25.8
20～25%	北上市 25.0 矢巾町 24.3 大船渡市 22.7 陸前高田市 20.8 金ヶ崎町 20.1	雫石町 24.3 矢巾町 24.0 北上市 22.9 遠野市 21.4	田野畑村 24.3 矢巾町 23.4 遠野市 21.6 北上市 21.4	紫波町 24.3 田野畑村 24.1 遠野市 22.9 釜石市 22.9 一戸町 22.3 北上市 20.3 矢巾町 20.3	田野畑村 24.1 北上市 22.2 釜石市 21.9 軽米町 20.9	滝沢市 24.7 雫石町 24.3 陸前高田市 24.1 釜石市 22.5 花巻市 22.3 西和賀町 22.3 紫波町 22.2 大船渡市 20.5	紫波町 24.9 陸前高田市 24.4 釜石市 22.9 矢巾町 22.8 花巻市 22.4 西和賀町 21.6 大船渡市 21.3	一戸町 24.4 陸前高田市 23.5 釜石市 22.9 紫波町 22.6 花巻市 21.6 西和賀町 21.2 大船渡市 20.9 矢巾町 20.0
15～20%	遠野市 19.6 県平均 18.7 盛岡市 17.9 一戸町 17.0 西和賀町 16.5 宮古市 16.1 奥州市 15.7 一関市 15.4 岩手町 15.4 二戸市 15.2 花巻市 15.1	金ヶ崎町 19.1 県平均 18.7 一戸町 17.9 盛岡市 17.5 花巻市 17.3 西和賀町 16.2 宮古市 16.2 軽米町 15.9 岩手町 15.7 奥州市 15.4	県平均 18.5 金ヶ崎町 18.3 軽米町 18.1 一戸町 18.1 盛岡市 17.1 西和賀町 16.0 盛岡市 15.8 岩手町 15.8 一関市 15.6	大船渡市 19.9 軽米町 18.4 県平均 17.5 金ヶ崎町 17.4 西和賀町 16.2 盛岡市 16.1 一関市 15.6 岩手町 15.2	大船渡市 19.7 県平均 18.5 花巻市 18.2 西和賀町 17.8 盛岡市 17.6 金ヶ崎町 16.5 一関市 15.8	矢巾町 19.3 軽米町 19.2 県平均 18.1 盛岡市 16.1 一関市 15.1	軽米町 18.8 県平均 18.4 盛岡市 16.7 一関市 15.0	県平均 18.2 軽米町 18.1 一関市 16.8 盛岡市 16.2
10～15%	軽米町 14.6 山田町 14.6 平泉町 13.0 八幡平市 12.7 洋野町 12.0 久慈市 11.6 九戸村 10.8	二戸市 14.7 山田町 14.6 一関市 14.1 平泉町 13.3 八幡平市 11.8 洋野町 11.2 九戸村 10.5 久慈市 10.4	山田町 14.8 花巻市 14.6 奥州市 14.0 二戸市 13.1 平泉町 11.9 洋野町 11.4 八幡平市 11.2 久慈市 10.5 九戸村 10.2	花巻市 14.7 宮古市 14.6 山田町 14.0 二戸市 13.3 野田村 13.0 奥州市 12.0 八幡平市 11.5 洋野町 11.0 久慈市 10.8 普代村 10.7 平泉町 10.6	宮古市 14.4 二戸市 14.3 山田町 14.2 岩手町 14.0 山田町 13.9 奥州市 11.8 八幡平市 11.5 洋野町 10.9 久慈市 10.6 普代村 10.4 平泉町 10.1	岩手町 14.1 二戸市 14.0 平泉町 13.9 宮古市 13.8 奥州市 11.5 八幡平市 11.3 洋野町 11.4 奥州市 10.3 久慈市 10.3	岩手町 14.7 金ヶ崎町 14.6 二戸市 14.4 山田町 13.6 宮古市 13.2 野田村 12.8 洋野町 11.8 普代村 11.4 奥州市 11.3 久慈市 11.2 八幡平市 11.2	岩手町 14.7 平泉町 14.5 二戸市 14.0 山田町 13.3 金ヶ崎町 13.2 野田村 12.8 洋野町 12.4 宮古市 12.3 普代村 11.7 久慈市 11.4 八幡平市 10.9 奥州市 10.7
10%未満	野田村 9.4 普代村 8.5	野田村 9.4 普代村 8.3	普代村 9.9 野田村 9.2	九戸村 8.6	九戸村 9.2	普代村 9.4 九戸村 9.1	平泉町 9.7 九戸村 9.2	九戸村 9.3

(単位: %)

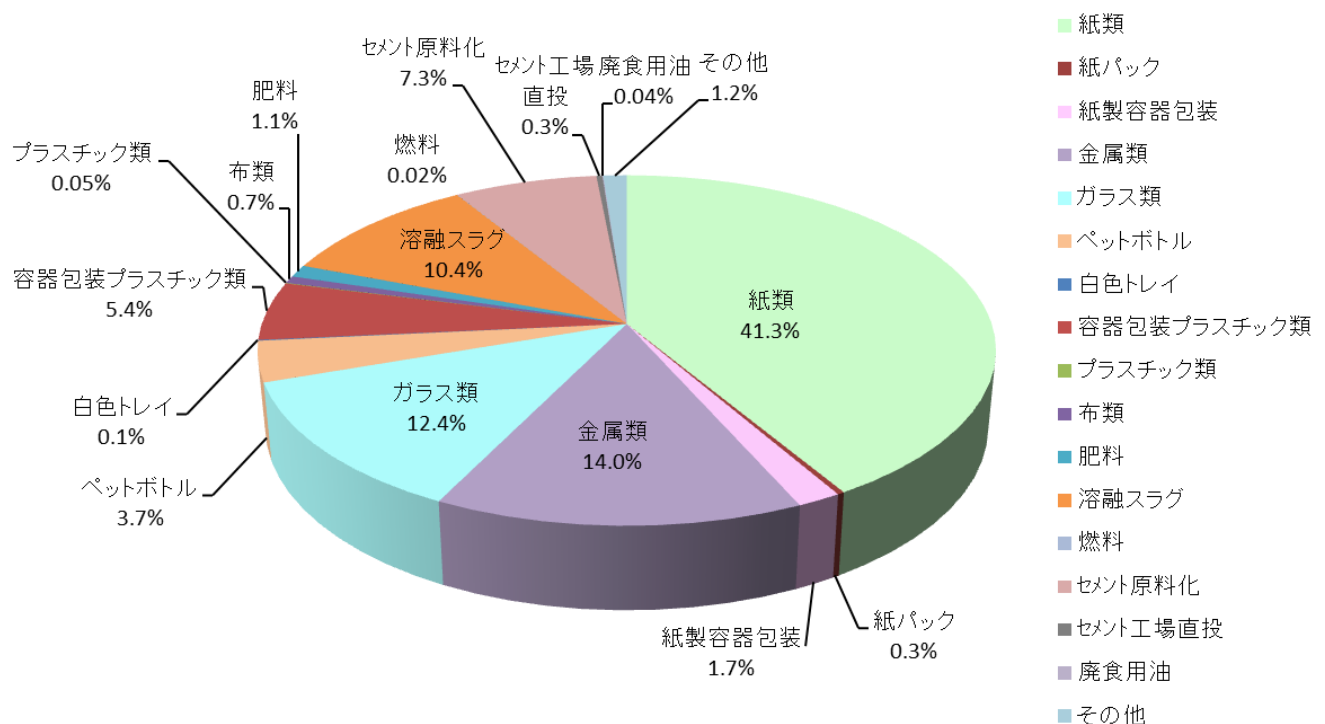
(5) 品目別リサイクル量

リサイクル量77.2千トンについて、品目別の割合をみると、紙類（古紙）が41.3%で最も多く、次いで金属類の14.0%、ガラス類の12.4%、溶融スラグの10.4%となっている。

※溶融スラグは、廃棄物を高温で溶融したものを冷却し固化させたもので、主に建設・土木資材としてリサイクルされている。

表－9 品目別のリサイクル量の推移

		(単位:トン)							
品目	年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
紙類		40,320	40,672	37,993	36,092	35,625	33,493	32,230	31,931
紙パック		237	286	235	218	204	208	206	207
紙製容器包装		4,006	3,233	3,241	3,077	1,516	1,327	1,293	1,304
金属類		11,513	10,733	11,723	11,564	11,353	10,759	10,883	10,840
ガラス類		11,917	11,320	11,588	10,566	11,161	10,414	10,155	9,557
ペットボトル		2,747	3,318	2,658	2,562	2,593	2,623	2,647	2,889
白色トレイ		87	295	60	56	51	46	49	52
容器包装プラスチック類		3,145	3,302	3,489	3,682	3,830	3,926	4,123	4,182
プラスチック類		2	2	1	1	29	22	26	38
布類		250	366	445	744	871	564	519	524
肥料		603	818	897	1,087	1,011	870	836	882
溶融スラグ		8,786	9,492	11,143	7,967	10,480	7,437	9,385	8,021
燃料		12	14	15	16	16	16	16	15
セメント原料化		0	0	0	0	1,904	5,019	5,104	5,605
セメント工場直投		0	0	0	0	240	232	230	226
廃食用油		15	14	33	38	33	34	28	34
その他		211	317	343	468	678	760	879	921
合計		83,851	84,182	83,864	78,138	81,595	77,751	78,609	77,228



図－11 リサイクル品目別の割合（平成30年度）

### 3 ごみ焼却施設の整備状況

#### (1) 焼却施設数及び処理能力

平成30年度末現在における県内のごみ焼却施設数は19施設であり、処理能力の合計は2,304トン/日である。このうち、焼却施設は16施設、溶融施設は3施設である。

なお、19施設中稼働しているのは14施設で、5施設は休止している。

また、19施設の処理能力の合計は2,304トン/日で、このうち、焼却施設は1,897トン/日、溶融施設は407トン/日である。

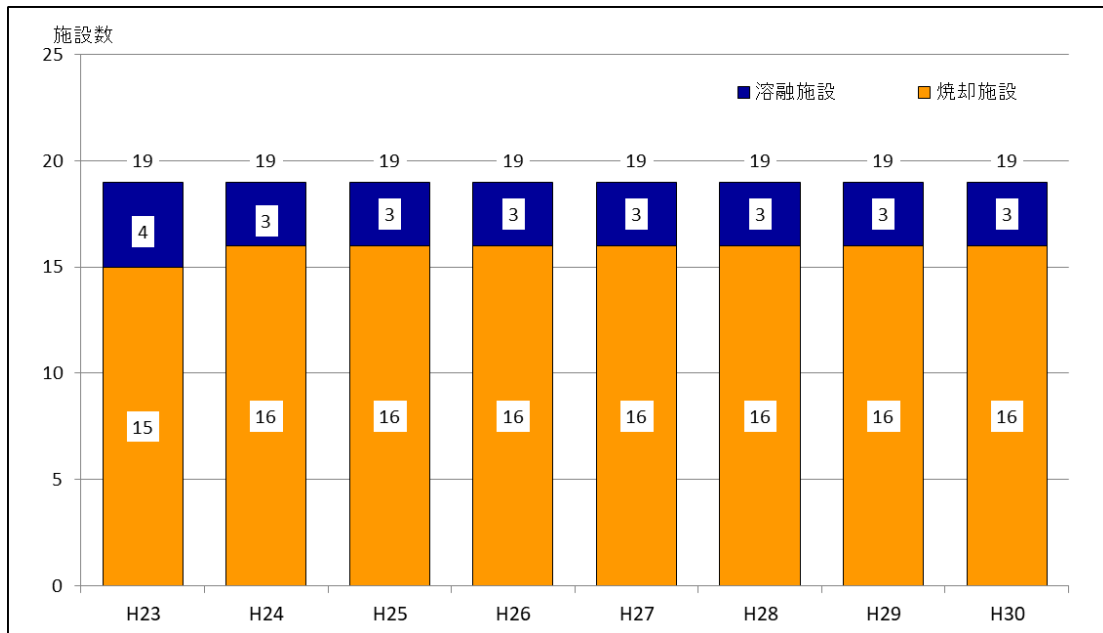


図-12 ごみ焼却施設の種類の施設数の推移

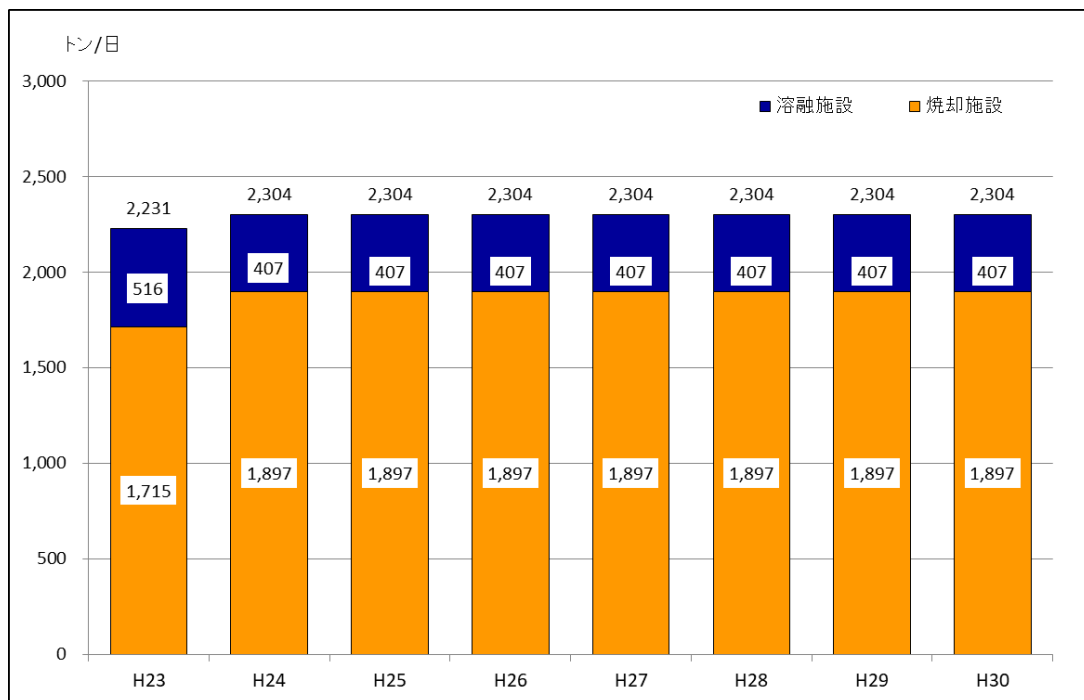


図-13 ごみ焼却施設の処理能力の推移

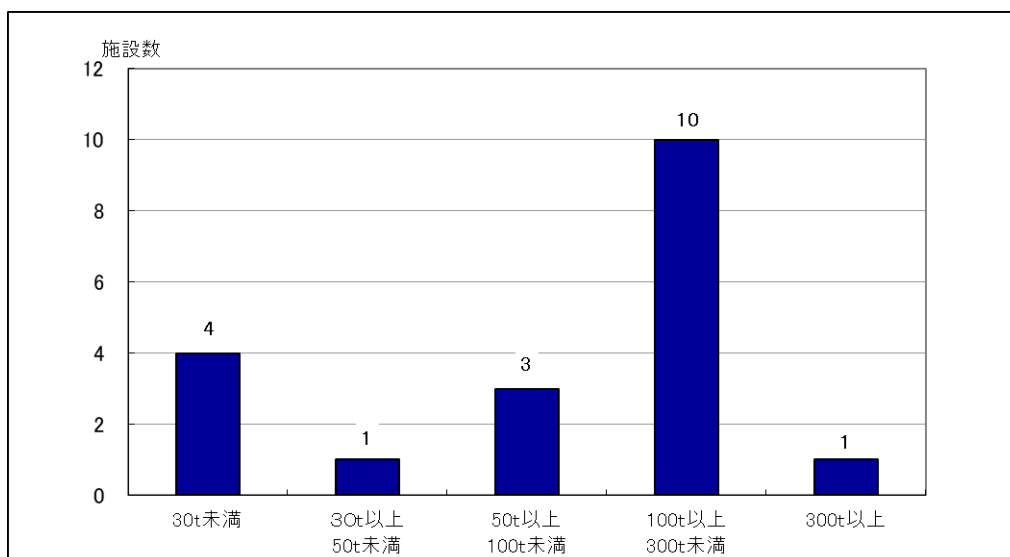


図-14 ごみ焼却施設の規模別施設数（平成30年度）

## （２） 余熱利用の状況

焼却施設19施設のうち、**余熱の利用は14施設**で実施されており、施設内においては暖房・給湯に利用されている。また、施設外においては温水プール等への温水・熱供給、発電等に利用されている。

表-10 ごみ焼却施設の余熱利用状況（平成30年度）

余熱利用の状況	余熱利用あり								余熱利用なし
		場内温水	場外温水	場内蒸気	場外蒸気	場内発電	場外発電	その他	
施設数	14	12	2	1	0	5	5	0	5

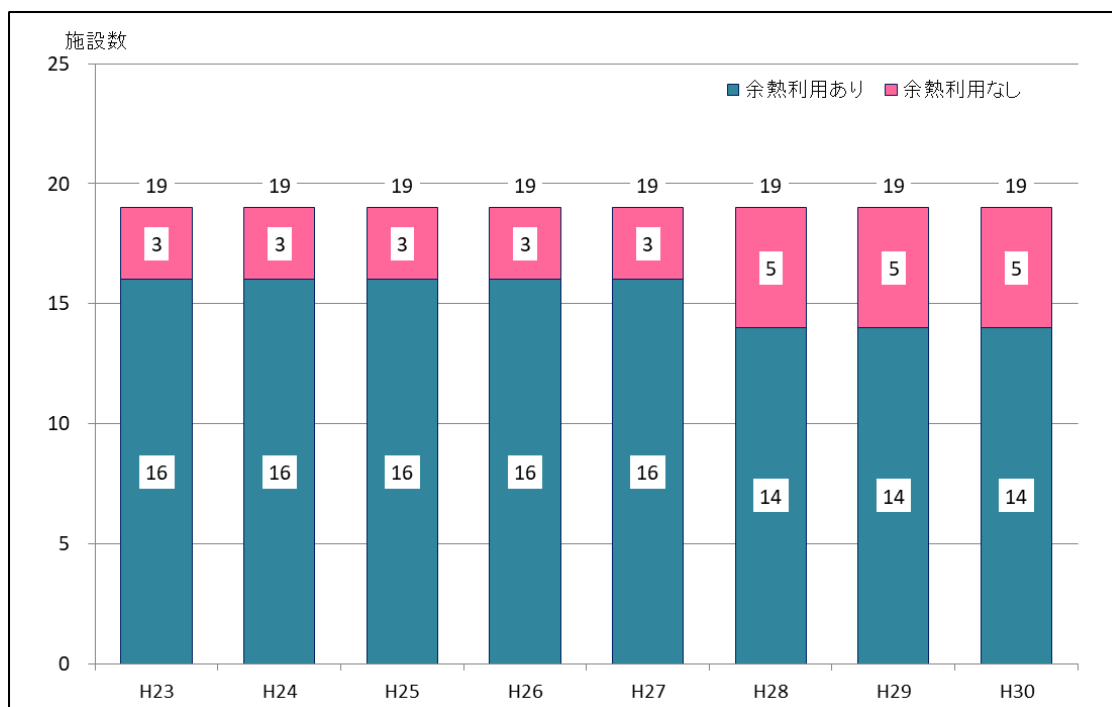


図-15 焼却施設における余熱利用の推移

### (3) 発電の状況

発電設備を有する施設は**5施設**で、発電能力の合計は**11,400kW**である。また、総発電電力量は**73,060MWh**であり、約24,570世帯分の年間電力使用量に相当する。

また、発電能力は、5施設とも発電能力が5,000kW未満であり、そのうち2施設は、1,000kW以上2,000kW未満という比較的小規模な発電設備を有する施設である。

なお、5施設のうち、発電効率が10%以上の施設が3施設となっている。

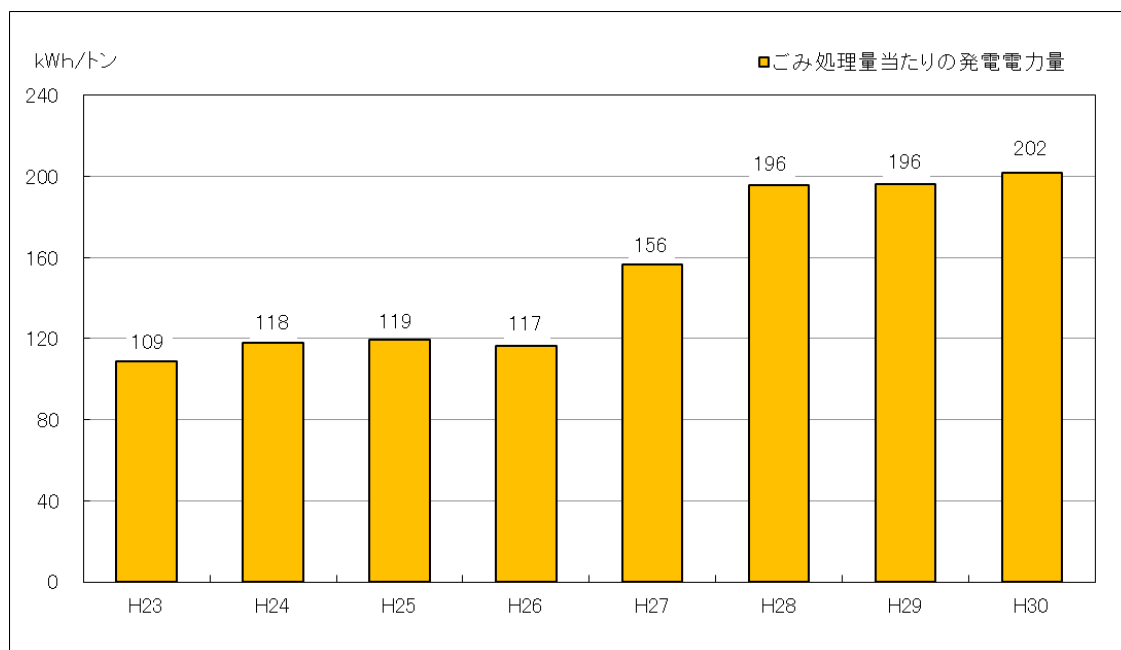
※平成27年度一世帯当たりの電力消費量247.8kWh/月をもとに算出（電気事業連合会調べ）

表－11 ごみ焼却施設の発電の状況（平成30年度）

施設名	総発電能力(kW)	発電効率(%)	総発電電力量(MWh)	年間処理量(t)
盛岡市クリーンセンター	1,570	5.8	12,071	70,788
盛岡・紫波地区環境施設組合 ごみ焼却施設	2,080	9.0	11,916	32,846
岩手中部広域行政組合 岩手中部クリーンセンター	4,100	18.6	29,224	55,960
岩手沿岸南部広域環境組合 沿岸南部クリーンセンター	2,450	14.5	13,959	30,661
滝沢・雫石環境組合 滝沢清掃センター	1,200	12.0	5,890	23,701
県計・平均	11,400	12.0	73,060	213,956

### (4) 発電電力量

焼却施設（発電設備の有無を問わない）の年間処理量と、年間の総発電電力量から求められるごみ処理量当たりの発電電力量は、202kWh/トンであった。



図－16 ごみ処理量当たりの発電電力量の推移

$$\text{※ごみ処理量当たりの発電電力量 (kWh/トン)} = \frac{\text{ごみ焼却施設における年間総発電電力量 (kWh)}}{\text{ごみ焼却施設におけるごみの年間処理量 (トン)}}$$

### 3 最終処分場の整備状況

#### (1) 残余容量と残余年数

平成30年度末現在、一般廃棄物最終処分場は23施設あり、このうち、埋め立て中の施設は13施設、休止中の施設は10施設である。

また、残余容量の合計は747千 $\text{m}^3$ で、残余年数は14.8年である。

表-12 一般廃棄物最終処分場の施設数と残余年数の推移

区分 年度	最終処分場数			埋立面積 ( $\text{m}^2$ )	全体容積 ( $\text{m}^3$ )	残余容量 ( $\text{m}^3$ )	残余年数 (年)	最終処分量 (トン)
	山間	平地	計					
H23	23	1	24	429,619	3,007,066	968,162	15.1	52,498
H24	23	1	24	429,619	3,057,066	948,748	14.7	52,678
H25	23	1	24	429,619	3,057,066	843,951	13.7	50,415
H26	22	1	23	418,039	3,014,158	820,226	13.4	49,913
H27	22	1	23	417,462	3,024,294	792,701	14.4	44,939
H28	22	1	23	417,462	3,024,294	782,245	15.7	40,609
H29	22	1	23	417,462	3,038,160	782,853	15.7	40,788
H30	22	1	23	417,462	3,038,160	747,280	14.8	41,305

※残余年数とは、新規の最終処分場が整備されず、当該年度の最終処分量により埋立てが行われた場合に、埋立て処分が可能な期間（年数）をいい、以下の式により算出される。

※最終処分量には、災害廃棄物の埋立て量を除く。

$$\text{※残余年数（年）} = \frac{\text{当該年度末の残余容量（}\text{m}^3\text{）}}{\text{当該年度の最終処分量（トン）} \div \text{埋立てごみ比重（埋立てごみ比重は 0.8163）}}$$

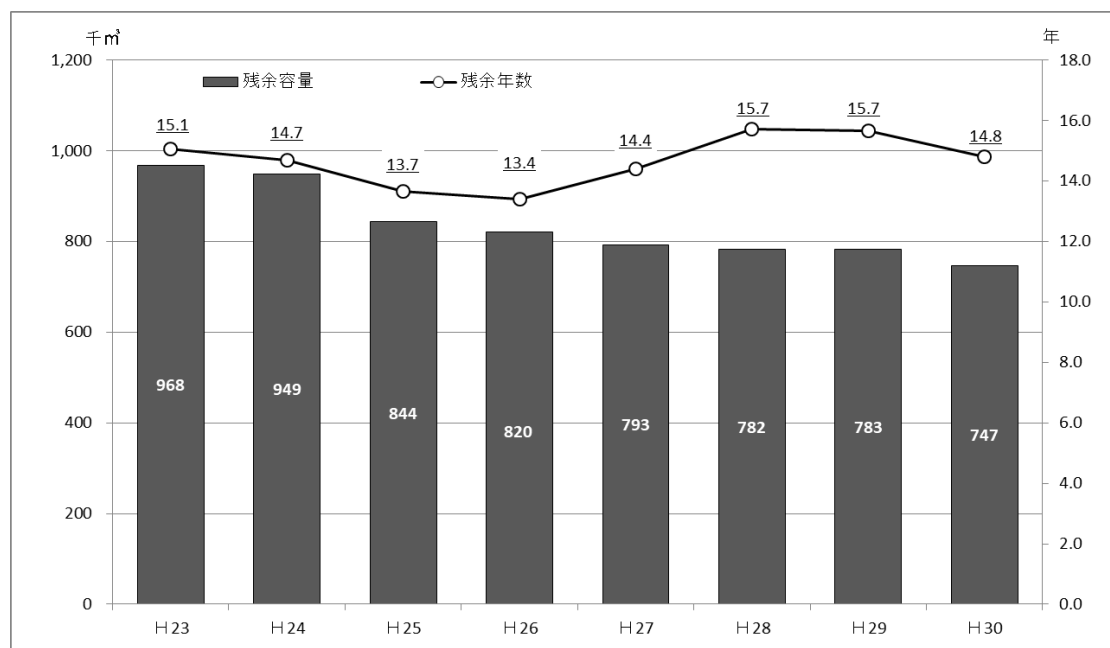


図-17 一般廃棄物最終処分場の残余容量と残余年数の推移

#### (2) 最終処分の広域移動の状況

平成30年度において、県内で発生した一般廃棄物で、最終処分を目的として県外の施設に搬出されたものは、最終処分量41,305トンのうち2,578トンで、全体の6.2%であった。

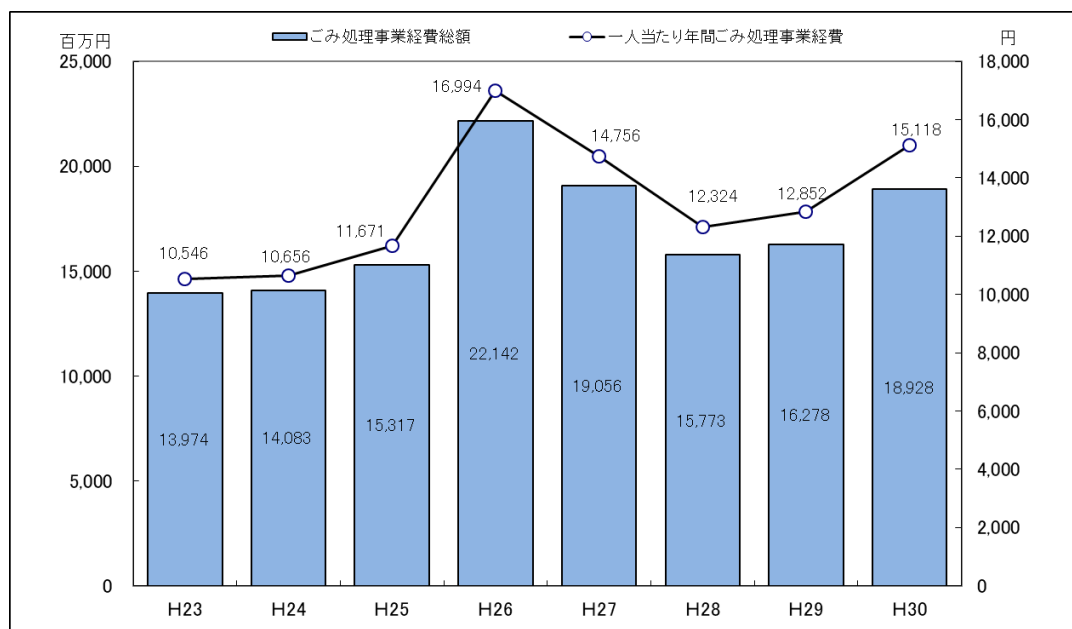
#### 4 ごみ処理経費

平成30年度に市町村及び一部事務組合等がごみ処理に要した経費（市町村から一部事務組合等への組合分担金は含まない。）は、189億3千万円で、県民一人当たりの年間ごみ処理事業経費は15,118円であった。

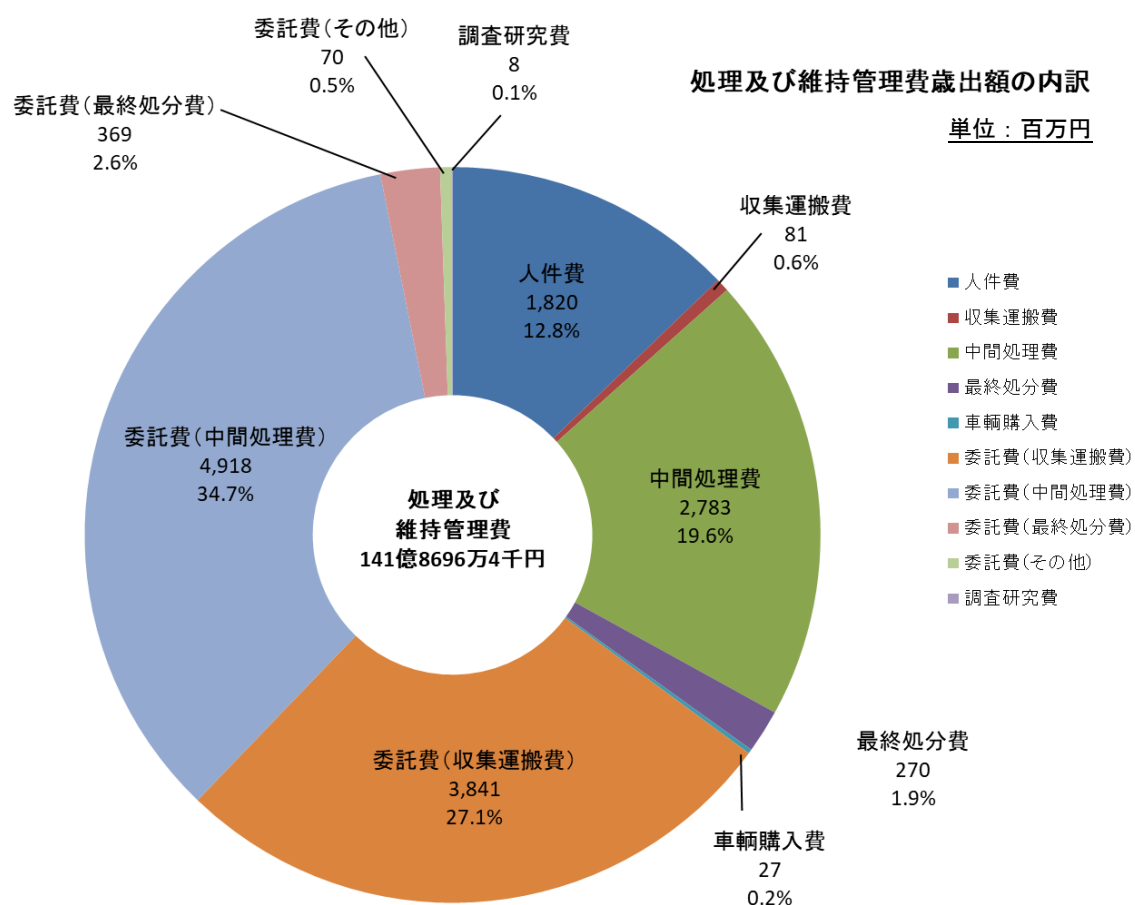
ごみ処理事業経費のうち、処理施設や設備の建設・改良に要した経費は43億4千万円、処理及び維持管理に要した経費は141億9千万円で、県民一人当たりの年間処理及び維持管理費は11,331円であった。

表－13 ごみ処理経費の推移

項目	年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
ごみ処理事業経費合計（千円）		13,974,456	14,082,686	15,316,968	22,141,704	19,055,704	15,772,630	16,278,049	18,928,188
建設改良費（千円）		777,537	983,612	1,287,852	8,126,132	4,118,488	1,653,000	2,001,347	4,341,123
処理及び維持管理費（千円）		12,980,135	12,779,508	13,510,407	13,847,889	13,825,757	13,814,416	13,635,484	14,186,964
その他（千円）		216,784	319,566	518,709	167,683	1,111,459	305,214	641,218	400,101
収集人口（人）		1,325,147	1,321,598	1,312,383	1,302,923	1,291,352	1,279,875	1,266,552	1,252,038
県民一人当たりの年間ごみ処理事業経費（円）		10,546	10,656	11,671	16,994	14,756	12,324	12,852	15,118
県民一人当たりの年間処理及び維持管理費（円）		9,795	9,670	10,295	10,628	10,706	10,794	10,766	11,331



図－18 ごみ処理事業経費の推移



図—19 処理及び維持管理費の内訳（平成 30 年度）

## Ⅱ し尿処理

### 1 し尿の処理状況

#### (1) し尿処理量

平成30年度のし尿の処理量は、汲み取りし尿354千kL、浄化槽等汚泥172千kLで、し尿処理施設処理量は525千kLであった。

なお、公共下水道の整備に伴い水洗化が進んだため、汲み取りし尿の処理量が減少している。

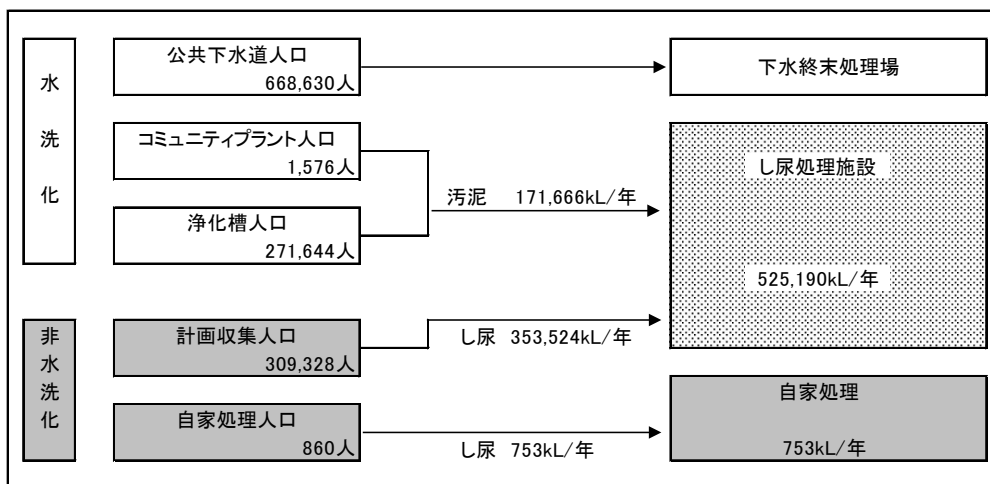


図-20 し尿処理のフロー（平成30年度）

表-14 し尿処理の系統の推移

(単位:人、%)

項目	年度		H23 (2011)		H24 (2012)		H25 (2013)		H26 (2014)		H27 (2015)		H28 (2016)		H29 (2017)		H30 (2018)	
	人口	構成	人口	構成	人口	構成	人口	構成	人口	構成	人口	構成	人口	構成	人口	構成	人口	構成
人口	1,325,147	100.0	1,321,598	100.0	1,312,383	100.0	1,302,923	100.0	1,291,352	100.0	1,279,875	100.0	1,266,552	100.0	1,266,552	100.0	1,266,552	100.0
水洗化人口	874,337	66.0	893,014	67.6	916,427	69.8	921,287	70.7	929,262	72.0	927,935	72.5	933,730	73.7	941,850	74.4	941,850	74.4
公共下水道	608,561	45.9	619,393	46.9	631,977	48.2	637,630	48.9	647,945	50.2	655,527	51.2	664,116	52.4	668,630	52.8	668,630	52.8
コミュニティプラント	2,000	0.2	1,846	0.1	1,717	0.1	1,724	0.1	1,721	0.1	1,574	0.1	1,589	0.1	1,576	0.1	1,576	0.1
浄化槽	263,776	19.9	271,775	20.6	282,733	21.5	281,933	21.6	279,596	21.7	270,834	21.2	268,025	21.2	271,644	21.4	271,644	21.4
(合併処理浄化槽)	242,052	18.3	254,740	19.3	237,016	18.1	237,580	18.2	235,775	18.3	235,807	18.4	244,302	19.3	230,886	18.2	230,886	18.2
(単独処理浄化槽)	21,724	1.6	17,035	1.3	45,717	3.5	44,353	3.4	43,821	3.4	35,027	2.7	23,723	1.9	40,758	3.2	40,758	3.2
非水洗化人口	450,810	34.0	428,584	32.4	395,956	30.2	381,636	29.3	362,090	28.0	351,940	27.5	332,822	26.3	310,188	24.5	310,188	24.5
計画収集人口	448,939	33.9	427,240	32.3	394,845	30.1	380,531	29.2	360,857	27.9	351,010	27.4	331,913	26.2	309,328	24.4	309,328	24.4
自家処理人口	1,871	0.1	1,344	0.1	1,111	0.1	1,105	0.1	1,233	0.1	930	0.1	909	0.1	860	0.1	860	0.1

表-15 し尿処理量の推移

(単位:kL、%)

項目	年度		H23 (2011)		H24 (2012)		H25 (2013)		H26 (2014)		H27 (2015)		H28 (2016)		H29 (2017)		H30 (2018)	
	量	構成	量	構成	量	構成	量	構成	量	構成	量	構成	量	構成	量	構成	量	構成
し尿処理量	568,200	100.0	563,973	100.0	570,416	100.0	557,546	100.0	551,078	100.0	539,846	100.0	535,223	100.0	525,943	100.0	525,943	100.0
し尿処理施設	548,015	96.4	562,977	99.8	569,538	99.8	556,622	99.8	549,995	99.8	539,091	99.9	534,455	99.9	525,190	99.9	525,190	99.9
汲み取りし尿	414,788	73.0	409,531	72.6	408,840	71.7	393,081	70.5	382,943	69.5	374,495	69.4	367,512	68.7	353,524	67.2	353,524	67.2
浄化槽汚泥	133,227	23.4	153,446	27.2	160,698	28.2	163,541	29.3	167,052	30.3	164,596	30.5	166,943	31.2	171,666	32.6	171,666	32.6
下水道投入	18,992	3.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
自家処理	1,193	0.2	996	0.2	878	0.2	924	0.2	1,083	0.2	755	0.1	768	0.1	753	0.1	753	0.1

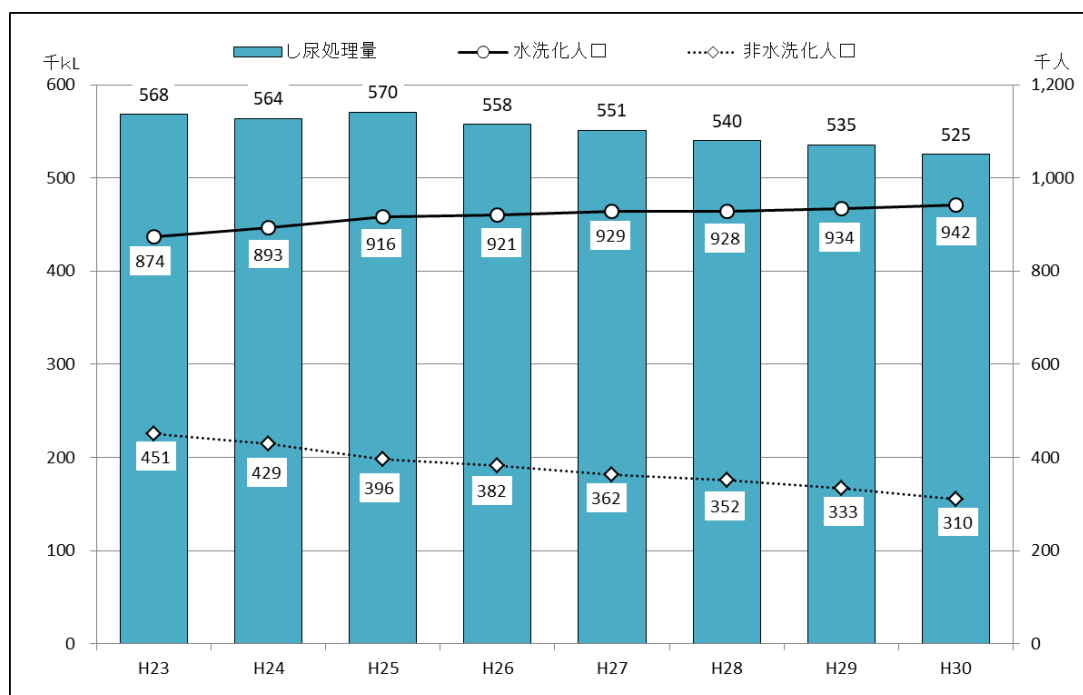


図-21 し尿処理量と水洗化人口・非水洗化人口の推移

## (2) し尿処理体制

平成30年度におけるし尿の処理は、主に複数の市町村で構成された一部事務組合又は広域連合（以下「一部事務組合等」という。）が実施している。一部事務組合及び広域連合における処理量の推移は次のとおり。なお、紫波・稗貫衛生処理組合は、平成31年3月31日をもって解散し、平成30年度から紫波町の汚泥再生処理センターが稼働している。

表-16 し尿処理施設ごとの処理量

(単位: kL/年度)

年度	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
一部事務組合等名								
久慈広域連合	41,261	41,375	40,309	40,888	40,522	40,079	39,725	39,811
二戸地区広域行政事務組合	33,736	33,425	33,362	33,173	32,731	32,380	32,712	32,898
盛岡北部行政事務組合	35,515	34,886	33,924	32,481	31,897	30,885	30,988	31,808
盛岡地区衛生処理組合	40,674	40,161	40,436	38,769	38,688	37,347	36,384	45,254
紫波・稗貫衛生処理組合	38,980	36,997	38,475	35,829	35,645	34,876	34,627	-
北上地区広域行政組合	75,850	69,836	70,852	67,782	65,915	64,902	63,206	71,412
遠野市	19,903	20,130	19,866	19,429	18,573	17,999	18,191	18,187
奥州金ヶ崎行政事務組合	87,637	76,280	75,711	74,061	72,590	72,293	72,095	70,591
一関地区広域行政組合	93,279	88,025	88,505	84,900	82,444	81,259	79,031	77,634
宮古地区広域行政組合	50,380	48,906	48,906	50,113	50,260	49,589	48,337	46,480
気仙広域連合	3,954	47,291	49,002	50,531	52,137	49,208	51,721	48,532
釜石大槌地区行政事務組合	26,757	29,133	28,947	28,138	28,416	28,106	27,434	27,380
紫波町	-	-	-	-	-	-	-	9,539
合計	547,926	566,445	568,295	556,094	549,818	538,923	534,451	519,526

※紫波・稗貫衛生処理組合の解散に伴い、紫波町及び矢巾町のし尿等は紫波町の汚泥再生処理センター、盛岡市の一部地域のし尿等は盛岡地区衛生処理組合、花巻市の一部地域のし尿等は北上地区広域行政組合のし尿処理施設において処理を行っている。

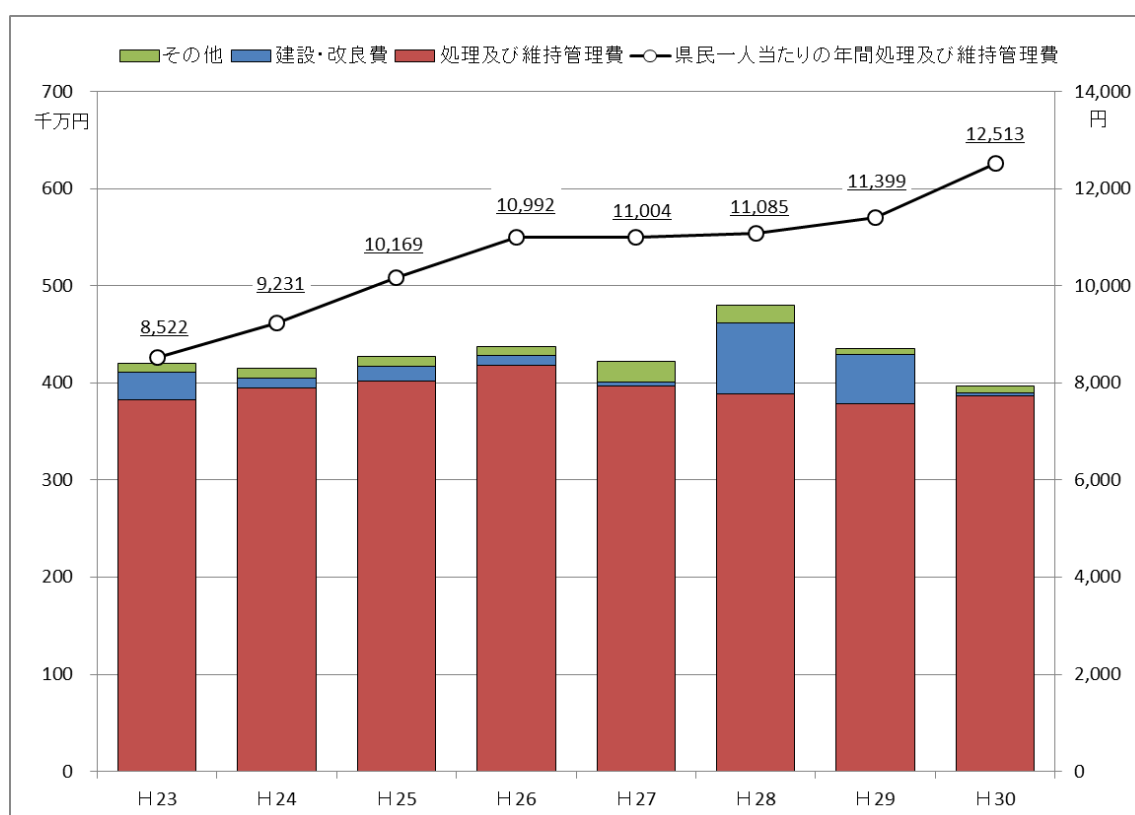
## 2 し尿の処理経費

平成30年度に市町村及び一部事務組合等がし尿処理に要した経費（市町村から一部事務組合等への分担金は除く。）は、**39億7千万円**であった。このうち、処理施設や設備の建設・改良に要した経費は5億1千万円、処理及び維持管理に要した経費は38億7千万円であった。

なお、**県民一人当たりの年間処理及び維持管理費**は**12,513円**であった。

表－17 し尿の処理経費の推移

年度 項目	H23 (2011)	H24 (2012)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)
建設・改良費	281,009	101,000	160,325	102,380	39,305	726,957	508,773	30,841
処理及び維持管理費	3,825,971	3,943,918	4,015,172	4,182,814	3,971,039	3,890,895	3,783,538	3,870,586
その他	96,954	109,338	98,311	88,585	212,072	180,048	65,363	69,992
合 計	4,203,934	4,154,256	4,273,808	4,373,779	4,222,416	4,797,900	4,357,674	3,971,419
計画収集人口	448,939	427,240	394,845	380,531	360,857	351,010	331,913	309,328
県民一人当たりの年間処理及び維持管理費	8,522	9,231	10,169	10,992	11,004	11,085	11,399	12,513



図－21 し尿処理経費の推移